

## 2-4 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)の取組

### 2-4-1 概要

本学は、平成27年度の文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」に、県内5大学(滋賀大学、成安造形大学、聖泉大学、びわこ学院大学、びわこ成蹊スポーツ大学)、滋賀県、経済団体等と連携して申請し、採択された。

COC+大学(幹事校)である本学においては、地域共生センターにCOC+推進室を設置するなど体制を整備し、地域が求める人材を養成する教育プログラムの改革や地元就職率の向上・雇用拡大等を積極的に進めてきた。

#### ○本学における主な取組

区分	具体的な取組項目
教育プログラムの改革	①近江楽土(地域学)副専攻ソーシャル・アントレプレナー(SE)コースの新設 ②中期インターンシップ実施
地元就職率の向上	①中期インターンシップ実施 ②ジョブ交座
雇用拡大・雇用創出	①大学によるアイデアコンテスト

#### ○COC+参加の5大学との連携事業

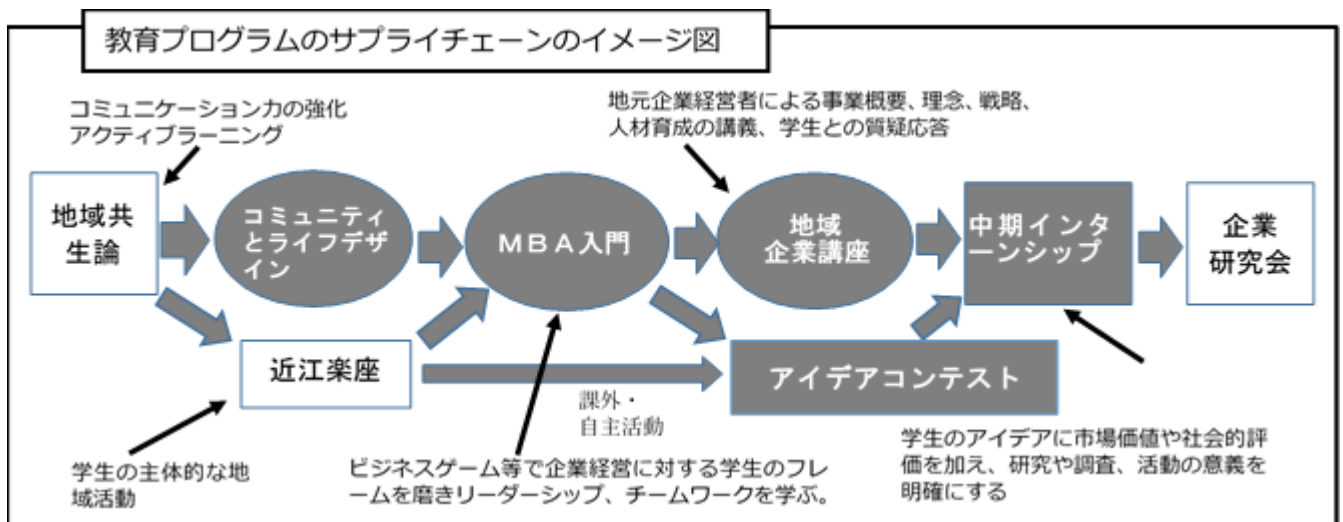
- ・「地域コミュニケーション論」やFD研修の合同実施
- ・「地域共生論」の共通科目化
- ・中期インターンシップの共同実施
- ・近江楽座の展開など

### 2-4-2 主な数値目標の達成状況

事業目標	H26	H30	R1	
	実績	実績	目標	実績
地元就職率	29.8%	30.4%	39.8%	29.9%
うち滋賀県立大学	28.9%	30.3%	38.9%	29.5%
中期インターンシップ参加者数	-	38人	50人	37人
うち滋賀県立大学	-	8人	20人	3人

地元就職率に関しては、昨今のいわゆる学生優位の「売り手市場」が継続し、県外企業への就職が進んだため目標を達成できなかった。一方で、滋賀県内大学全ての地元就職率は、平成28年度19.5%から令和元年度は17.1%と年々減少している一方で、COC+参加大学の地元就職率は、令和元年度で29.9%とわずかではあるが増加していることから、事業の効果は一定見られる。

特に、ソーシャル・アントレプレナーコースについて見ると、同30年度、令和元年度の2年間の修了生8名のうち、大学院進学の名を除き6名すべてが滋賀県での就職となったことは、事業の成果と判断できる。





SE コース「地域企業講座」授業風景

### 2-4-3 主な取組の結果

#### (1) 近江楽士(地域学)副専攻ソーシャル・アントレプレナー(SE)コース

本コースは、ビジネスの発想と手法によって地域課題を解決に導く起業的人材や起業家的精神をもって地元企業等でリーダーシップを発揮する人材の育成を目指すもので、「コミュニティとライフデザイン」「MBA 入門」、「地域企業講座」、「地域デザインC」または「地域デザインD」を履修し、併せて所属する学科の修了要件を満たすと副専攻の修了が認められ、近江楽士(ソーシャル・アントレプレナー)の称号が授与される。

近江楽士(SEコース)の称号授与者は、平成30年度3名、令和元年度5名で、このうち大学院進学の名を除く6名すべてが滋賀県で就職している。

なお、各科目の講義内容、履修登録者、前記2-2の地域教育プログラムの項で記載のとおり。

#### ○平成30年度SEコース修了者の声

「長い目で経営を考えている社長の方々に影響を受けました。企業の強みについて詳しく話を聞く中で、持続性のあるビジネスプランを考えることの重要性に気づきました。」

#### (2) 中期インターンシップ

15日間以上の課題解決型の職場実習を通じて学生が地元の企業をより深く理解することができる中期インターンシップを参加5大学と共に推進した。

グループワークや疑似業務体験等により、学生と社

員との交流の促進に加え、実際の仕事に近い内容に触れることができ、企業や仕事に対する理解度が深まり、志望度を高める効果が見られた。

また、学生が自己の能力の伸長の必要性や適性等についてより多くの気づきを得ることができた。

中期インターンシップ終了後は、参加した学生、受け入れ企業、大学担当者による発表と振り返り、今後の目標などについてグループワークや発表、意見交換等を行った。

#### ○中期インターンシップ参加者の声

「大学での学びが企業においてどのように役立つかを知ることができた。」

「働くイメージができ、自分自身に足りないものが何か気づくことができた。」

「滋賀県内にたくさんの企業があることが分かった。」

「近くで仕事を見ることができ、企業の求める人材や能力を知ることができた。」



中期インターンシップの実習風景

#### (3) ジョブ交座

本学独自の取組で、県内企業の若手社員等が学生ホールに企業PRブースを出展し、学生と気軽に交流するイベントである。働くことへの不安や疑問を解消するとともに、優良な地元企業の存在を知るきっかけを提供し、学生と地元企業の相互理解を促進した。

#### ○ジョブ交座の実施状況

	平成30年度	令和元年度
実施回数	3回	5回
参加企業等数	12	18
参加学生数	181人	250人



ジョブ交際の模様

#### (4)大学によるアイデアコンテスト

創業・起業による雇用創出に向けて、学生のアントレプレナーシップの醸成を図るため「大学によるアイデアコンテスト」を実施した。コンテストは、滋賀中央信用金庫（令和元年度は湖東信用金庫も参加）との共催で実施し、大学生の地域課題をビジネス的な手法で解決する事業計画を募集し、公開プレゼンテーションを経て優秀なものを表彰した。

#### ○滋賀県立大学学生の表彰テーマ実績

年度	表彰区分	表彰テーマ
H28	最優秀賞	おきしま湖散歩～沖島を淡水湖ダイビングのメッカに～
H29	準グランプリ	環境にやさしい燃料電池自動車に使われる触媒の開発と事業化
H30	グランプリ	新可視光応答型触媒の開発
R1	審査委員奨励賞	フラーレンが切り開く壁で発電する時代